さんにち NIE ワークシート

山梨日日新聞

年　　組　名前：

問1
池江選手の今の目標を書きましょう。

問2
出場を狙っている五輪は、何年後にどこで開催される五輪ですか。

問3
池江選手への応援メッセージを書きましょう。

池江 10月実戦へ
「強さ求めて練習」

白血病と闘う競泳女子の池江璃花子(19)＝日本大2年、ルネサンス＝が2日、東京都内での練習を報道陣にオンラインで公開し「今の目標は日本学生選手権。（大会が）あることを信じて練習に励んでいる」と、10月上旬の実戦復帰を目指していることを明かした。出場すれば、昨年1月以来1年9カ月ぶりのレースとなる。

4日に20歳の誕生日を迎える。「20歳の抱負は何らかの試合に出ること。今の状況をしっかりチェックして、それ以上に強くなれる方法をどんどん見つけていければ」と力を込めた。

昨年2月に病が発覚して長期入院。昨年12月に退院し、3月にプールでの練習を再開した。「今の泳力は自分の中学1、2年生ぐらい」と言う。2日は新コーチの西崎勇氏の下、2時間で3千㍍ほど泳いだ。時折笑顔を見せながら2016年リオデジャネイロ五輪代表の持田早智（ルネサンス）らとほぼ同じメニューをこなし「日に日に力が付いてきている感じはしている」と手応えを示した。現在は週4日練習をしている。

新型コロナウイルスの影響で東京五輪は1年延期となったが「あくまでも目標は24年。土台をしっかり作ってやっていければ」と、改めて4年後のパリ五輪を狙う考えを示した。

一問一答

池江は笑みを絶やさずに質問に応じた。

―3月からプールで練習を再開。

「1年ちょっと我慢した。念願の待ち望んでいたプールに入ることができてうれしかった」

―これまで泳いできて思うことは。

「みんなと泳ぎ始めたら練習に付いていけなくて、悔しかったりしたけど、今は同じようにできるようになってきて、日に日に力が付いてきている感じはしている」

―白血病と診断された時の心境は。

「抗がん剤治療で髪の毛が抜けることにショックを受けたが、今まで頑張りすぎたなと思い、ほっとした気持ちもあった。休んでまた頑張ろうと思って、入院生活が始まった」

―現在の通院頻度は。

「1カ月に1回。薬も減って、免疫抑制剤もずっと前に終わった。体調は安定している」

―競技者として帰ってきた。

「もしかしたら元には戻れないかもしれないという気持ちもあった。でも病気の方たちに、ここまで強くなれると知ってもらいたかった。中途半端なまま水泳を終わらせたくない気持ちもあった」

練習を公開し、笑顔を見せる競泳女子の池江璃花子＝東京都内（代表撮影）

（2020 年 7 月 3 日付 山梨日日新聞 15 面）

教育目的以外の無断転載 複製および頒布は禁止します
Copyright © 2020 山梨日日新聞社 THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN.